



発行所

一般社団法人 全日本木材市場連盟
編集・発行人 東京都文京区後楽1-7-12
電話 03(3818)2906
FAX 03(3818)2907
毎月1回1日発行
定価・年3,000円
(会員は会費に含まれています。)

■全市連第67回定期総会・熊本大会を開催

当連盟は5月20日(金)、第67回定期総会を熊本市のホテルメルパルク熊本で開催した。会員の出席は、代理出席、委任状等を含めて134名。来賓として林野庁木材産業課 土居隆行木材製品技術室長、九州森林管理局 矢野彰宏局長、熊本県 廣田邦彦林業振興課長、熊本市長 宮本明大農政部長、熊本県木材協会連合会 長谷川誠専務理事ほか多くの方々にご出席頂いた。大会では、全市連会長功労者表彰状の贈呈のほか令和4年度の事業報告、同決算が決議された。また、役員任期満了に伴い新役員の選任を行い、大会宣言を採択した。

【開会宣言・開会の挨拶】

九州支部の多田副会長(株)アサモクは、昨年総会以降の会員関係物故者への黙祷の後、「本総会が林業・木材産業の発展、脱炭素化社会の実現に向けた力になることを願う。」と開会宣言した。

西垣会長は開会挨拶で、九州支部の協力への謝意、熊本地震や豪雨災害の被災者へのお見舞い、叙勲受章者と功労者表彰者へのお祝いを述べ、「新型コロナウイルス感染症から世界の経済活動が回復

していない中で、ロシアによるウクライナ侵攻が勃発。甚大な犠牲を目の当たりにし、強い憤りを感じるとともに長引く世界経済への悪影響が懸念されるところであり、紛争の一日も早い終息を祈る。我が国の経済は、原油価格や原材料価格の高騰、急激な円安に直面。さらに世界経済の不確実性の高まりによって、木材を含む多くの輸入品の供給見通しに不透明感が増している。このような中で明確に言えることは、国産材は、身近にあり、何よりも安心な資材であるということ。今こそ国産材の安定供給により需要者の信頼確保に努めることが重要。また、長期的視野に立ってSDGsや脱炭素社会の実現に貢献しなければならぬ。森林・林業・木材産業の役割は、従来にも増して期待されている。昨年、政府の新たな森林・林業基本計画が策定され、取組むべき方向が示された。公共建築物等木材利用促進法が改正され、木材利用の促進が大いに期待されている。林野庁では木材利用促進、製品供給力強化、国産材転換支援の対策等を推進されている。全市連としても木材利用促進の活動を進めるとともに、木材アドバイザー講習会等を通じて、消費者や建築関係者等と



【会長賞表彰者】



【西垣会長挨拶】



【土居林野庁木材製品技術室長挨拶】

の連携を深め、住宅・非住宅分野において、積極的な木材の利用促進に取組む。更に、木材市場の機能である情報発信や需給のコーディネート、公正な価格形成、木材の付加価値向上などを高度に発揮し、国産材の安定供給と山元への利益還元に貢献する。これらの取組が再造林を促進し、必ずや資源の循環利用の実現につながることを信じている。」等と述べた。

【来賓祝辞】

○林野庁土居隆行木材製品技術室長から、「総会開催への祝意。木材市場の木材安定供給への貢献に敬意。森林資源を「伐つて、使つて、植えて、育てる」ためには、木材の需要拡大を図ることが重要。国産材に対する期待が大きくなっているところ、林野庁としても国産材の供給力を強化し、海外市場の影響を受けにくい需給構造としていくための対策を推進。今後の需給見通しが不透明なことを踏まえ、実需に基づく適切な対応にご協力をお願いする。新たな森林・林業基本計画では、森林資源の適正な管理や木材産業の競争力強化、都市における「第2の森林」づくり等を通じた「グリーン成長」を目指す。「公共建築物等木材利用促進法」が改正され、木材利用促進の対象が建築物一般に拡大されたことを踏まえ、一層の木材利用の促進に取組む。グリーン成長の達成に向けた取組を前進させるには、国産材の安定供給と需要拡大の推進が必要であり、貴連盟の御支援と御協力をお願い申し上げます。」等のご挨拶を頂いた。

○熊本県の廣田邦彦林業振興課長から、「定期総会・熊本大会開催への祝意。本県での開催に対する謝意。本県はヒノキの素材生産量は全国1位、スギは5位という林業県。熊本地震、令和2年7月豪雨、新型コロナウイルスという3つの困難に見舞われているが、森林資源をフル活用した生業の再生や産業の創出に取組んでまいる。本県では、地球温暖化によるリスクを低減し、持続可能な未来を実現していくため、令和元年12月に国に先駆け、「2050年熊本県内CO₂排出実質ゼロ」を宣言し、資源の循環利用に積極的に取り組んでいる。公共建築物だけでなく中高層建築物の木材利用に官民一体で取り組む。国産材への期待の高まりと建築物の木造化・木質化という国を挙げての動きを追い風と捉えて、林業・木材産業の活性化につなげていくために、」等のご挨拶を頂いた。



「廣田熊本県林業振興課長挨拶」

○熊本市の宮本明大農水局農政部長から、「定期総会・熊本大会開催への祝意。木材輸入量の減少等に起因する国内の建築用木材の不足や価格高騰等により、改めて国産材への注目が高まるなど、木材

産業を取り巻く環境には目まぐるしく変化。本市においても新たな森林経営管理制度に対応するため、令和3年3月に「熊本市健全な森づくり推進計画」を策定し、健全な森林管理のほか公共施設への木材利用の促進や木材利用の普及啓発を推進。また「第38回全国都市緑化くまもとフェア」においても熊本県産材を利用したツリーハウスや木育広場を設置。今後とも木材利用の促進に取り組んで参りたい。引き続きお力添えを賜るようお願い申し上げます。」等のご挨拶を頂いた。



「宮本熊本市農政部長挨拶」

【議事】
議事は鈴木善一朗副会長・東海支部長（株）東海木材相互市場）を議長にして進行。

第1号議案 令和3年度事業報告及び収支決算承認の件

令和3年度は、関係団体と連携しながら、全国優良木材展示会、国産材地方展示即売会、国産材需要拡大製材品特別展示大会、合法証明木材供給事業者認定、木質バイオマス供給事業者認定等、国産材の流通拡大に取り組んだ。木材製品の品質向上に向けて、第49回JAS製材品普及推進展示会を5市場の御協力の下実施

した。木材需給動向調査、国の補助事業としてSCM構築支援事業等、需給情報連絡協議会に取組んだほか、「原木部会」と「製品部会」を開催した。

令和3年度決算は、経常収益計23、720千円余、経常費用計24、208千円余となり、当期経常増減額は487千円余の減となった。

定款第22条の規定に基づき、菊地實監事（東京木材市場（株））より決算等の内容は適正であるとの監査報告を行い承認された。

第2号議案 令和4年度事業計画及び収支予算報告の件

事業計画及び収支予算は、3月の理事会で決議済みであり、その概要を報告。

第3号議案 令和4年度会費割当ての件

令和4年度会費割当てが承認された。

第4号議案 役員改選の件

役員任期満了に伴い新たに理事・監事が選任され、理事の互選により、正副会長・支部長等が選任された。西垣会長が退任し、新会長には守屋長光東北支部長（株）仙台木材市場）が就任することが承認された。（役員名簿別掲）

大会宣言の決議

山下薫中国支部長（真庭木材市売株）より、以下の大会宣言案を提案し、満場一致で採択された。

私たち全市連会員は、本日ここに第67回定期総会・熊本大会を開催した。

我が国の森林資源が充実し本格的な利用期を迎えるなか、皆伐・再造林の推進、供給体制整備及び木材利用の拡大が重要課題となっている。また、新型コロナウイルス感染症の克服と経済社会活動の順

調な回復に取り組まなければならない。一方、世界経済の不確実性が高まり、原油や原材料等の価格の高騰、為替相場の急変など、木材需給を取り巻く情勢の不透明感が増している。今こそ、国産材の安定供給と需要者の信頼確保に努め、国産材の利用拡大を図ることが重要である。

木材流通において大きな役割を果たしている全市連会員は、経験と実績を活かし、関係団体と連携して需給の変化に柔軟に対応できる安定供給体制づくりに取り組む必要がある。

このような認識の下、政府に対し、山元に利益を還元できるよう生産・加工・流通対策並びに皆伐・再造林対策等の充実・強化や木材利用拡大対策、消費回復策を強く要請するとともに、自ら、次の事項に積極的に取り組むものとする。

○新型コロナウイルス感染症の拡大防止と経済社会活動の回復に向けて取り組もう。

○大震災・台風等自然災害からの復興・再生に向け、地域材の利用拡大等に取り組もう。

○木材の安定供給及び山元に利益を還元できるSCM構築等を通じ、資源の循環利用を通じた林業・木材産業の成長産業化、SDGs、カーボンニュートラル実現に貢献しよう。

○都市等における「第2の森林」づくり、木材利用拡大に取り組もう。

○JAS製材品のPR、需要拡大及び供給体制整備等に取り組もう。

○クリーンウッド法の下、合法証明木材及び木質バイオマス証明についての信頼

性の維持・向上に取り組み。川上・川下と連携して、木の良さを広める人材養成に取り組み。

【閉会の言葉】今坂幸一 熊本県木材市場連合会会長（熊本木材（株））の「地域の木材流通の要としての役割を担っていきましよう。」との挨拶により閉会した。

総会終了後は、NPO法人活木活木森ネットワーク遠藤日雄理事長から「第3次ウッドショック」が炙り出した日本の森林・林業・木材産業の課題」と題した講演をいただいた。

令和3年度全市連功労者会長賞表彰者

令和3年度の全市連功労者会長賞表彰者は以下の通り。（敬称略）

- 市場関係（37名）
- 木村孝一（福島県郡山地区木材製材協同組合）、渡邊恒（同）、河野一郎（茨城木材相互市場）、河西省三（林真澄（千葉県木材市場協同組合）、大平清次（マルト木材（株）（東京木材市場（株）所属問屋）、亀山正義（竹内木材工業（株）（新東京木材商業協同組合所属問屋）、保沢好宏（株）（東京木材相互市場）、山中智枝子（同）、土橋善八（新木場相原（東京木材市場（株）所属問屋）、佐藤真紀（ナイス（株）相模原市場）、島田耕治（同 資材事業本部）、秋枝しのぶ（同 福岡市場）、所幸弘（同 福岡市場）、尾崎美佐子（西垣林業（株））、鈴木政貴（株）（東海木材相互市場）、河本勇二（西垣林業（株）（三重事業所）

櫻井宏明（同）、城山佐知子（同）、谷川明裕（同）、東野政美（同）、福森栄美子（同）、遠藤裕一（株）（米子木材市場）、絹谷悟（同 生支支店）、宮本義彦（真庭木材市売（株））、浜口美江（丸幸産業（株））、森山哲二（大分県木材協同組合連合会 小倉市場）、田代友典（株）（長崎県北木材市場）、佐藤博文（熊本木材（株））、冬野晴久（同）、宮地剛（同）、相羽義弘（同 八代支店）、上野将幸（同 九木センター）、椎葉浩一（同 上球磨支店）、甲斐美穂（株）伊万里木材市場大分営業所）、梶原吉雄（同）、小久保邦靖（同 南九州営業所）

改選役員名簿

- 会長・東北支部長 守屋長光（株）仙台木材市場
- 副会長 関東北支部長 打越芳男（株）茨城木材相互市場、関東支部長 市川英治（東京木材市場（株））、東海支部長 鈴木善一郎（株）東海木材相互市場、近畿支部長 西垣泰幸（西垣林業（株））、四国支部長 樋口哲也（株）（大洋木材市場）、九州支部長 多田啓（株）アサモク
- 理事（支部長） 奥羽支部長 安部雄祐（株）山形城南木材市場、北陸支部長 谷口健郎（株）高岡木材市場、中国支部長 山下薫（真庭木材市売（株））
- 理事 加賀谷雅治（北海道木材市場（協））、川崎幸宏（青森県森林整備事業（協））、工藤茂丸（秋田中央木材市場（株））、鈴木賢二（南東北木材（株））、安藤裕一（株）ミトモク、金子利雄（株）

宇都宮総合木材市場）、小池正男（千葉県木材市場（協））、吉田貞裕（株）吉貞、中村司（東京新宿木材市場（株））、廣木俊一（新東京木材商業（協））、西村信洋（株）（東京木材相互市場）、大島誠（株）（東京第一木材市場）、飯島義雄（東京中央木材市場（株））、青木豊実（丸宇木材市売（株））、杉田理之（ナイス（株））、伊藤元二（株）横濱連合木材、谷口健郎（株）高岡木材市場、齊藤豊美（福井県木材市売（協））、勝野智明（木曾官材市売（協））、吉田芳治（岐阜県銘木（協））、小森淳史（株）東海木材相互市場）、西垣貴文（西垣林業（株））、小杉智一郎（株）東海木材市場、中川浩之（中川林業（株））、久保覚（松阪木材（株））、久我洋一（株）関西木材市場、伊藤正雄（株）大阪木材相互市場、名田健吾（神戸木材市売（協））、貝本博幸（奈良県銘木（協））、武本哲郎（株）津山綜合木材市場、岡本剛（株）岡山木材相互市場）、石谷樹人（石谷林業（株））智頭原木市場、三吉庸善（株）出雲木材市場、小林方之（株）福山中央木材市場、二宮政文（大木坑木（有））宇和島出張所、浜口伸一（株）徳島中央木材市場、尾崎徳七（協）高知県木材市場連盟、林雅文（株）伊万里木材市場、田代洋典（株）長崎県北木材市場、今坂幸一（熊本木材（株））、若松定生（株）中津木材相互市場、田中昇吾（株）九州木材市場、外山正志（都城地区製材事業（協））、柴立鉄彦（鹿児島県木材銘木市場（協））、川出泰之（愛知県木材市場連盟問屋部会）栗林一郎（関東木材セクター協会）、草野洋（一社）全国木材

市売買方組合連盟）、山口護（一社）全国木材組合連合会）、小山富美男（一社）全国素材生産業協同組合連合会）

○専務理事 柱本修（一社）全日本木材市場連盟

○監事 萩原宏（学識経験者）、菊地實（東京木材市場（株））

新旧会長挨拶



「西垣前会長」

この度の役員改選をもって全市連会長を退任し、次期会長に東北支部長の守屋長光さんが選任されました。

4年間の会長在任中に頂いた会員の皆様のご協力に対し、心より感謝申し上げます。退任の御挨拶とさせていただきます。



「守屋新会長」

この度（一社）全国市売連盟会長に就任致しました（株）仙台木材市場の守屋です。

67年程前に東北の450程の木材業者が出資して出来た製品を中心とする市場です。



「ウッドメッセ奈良」

SDGs 地球環境の観点から今までにない角度で森林木材の捉え方をされ、業界が大きな転換点を迎え、流通を担う私ども市場が変革を迫られている中で何かお役に立てばと思っております。どうぞ宜しくお願い致します。

■新たな木材流通拠点「ウッドメッセ奈良」を開設

奈良県桜井市にある桜井木材協同組合（岩本亨理事長）と奈良県銘木協同組合（貝本博幸理事長）、菅生銘木市場（菅生康清社長）の3社が新たに共同で利用する土場や施設、「ウッドメッセ奈良」を開設することとなり、4月21日に記念式典が開催された。土場は桜井木材協同組合が奈良県銘木協同組合の土場・倉庫を購入し原木部門を移転し整備したもので、9月には製品市場の菅生銘木市場が加わり、奈良県銘木協同組合ともども原木・製品流通の拠点となることが期待される。



「記念式典」



「木製の感謝状」

れている。式典で岩本理事は「3市場が力を合わせて国産材の安定供給の拠点となるよう努めていきたい。」と述べた。式典後は記念市が開催され、杉・松・黒木原木総合計で、約2600㎡の出材を受け、出荷者や製材業者ら約300人が参加し、活発な競りが行われた。

■(株) 仙台木材市場創立67周年記念式典を開催

(株) 仙台木材市場（守屋長光社長）は令和4年4月8日に創立67周年を迎えた。同社では、毎年創立記念に合わせて出荷者と買方のお得意様に感謝状と記念品を贈呈しており、本年は4月21日に創立記念式典を開催し、15社が出席した。式典では守屋社長より1年間のご支援・ご愛顧に御礼を申し上げ、「ウッド・チェンロゴマーク」を使用した木製感謝状に「炭素貯蔵量」(年間の木材出荷量・木材購買量をベースに炭素貯蔵量を計算)を表示して、記念品と合せて贈呈した。

令和4年春の叙勲

政府は令和4年春の勲章受章者を4月29日に公表した。全市連関係では、市川英治氏が旭日小綬章を、樋口高良氏が旭日単光章を受章した。御受章、誠におめでとうございます。

- 旭日小綬章 市川英治氏
- 元(一社) 日本フローリング工業会会長
- 元(一社) 全日本木材市場連盟会長



- 旭日単光章 樋口高良氏
- 現高松商工会議所常議員
- 元(一社) 全日本木材市場連盟副会長



雑記帳

世界各国の物価を特定の商品の価格で比較すると興味深い。その一つにビッグマックの値段の比較がある。ビッグマック指数と呼ばれる、日本は57か国中、高い方から数えて33位。2000年頃は5位だった。スターバックスも今は多くの国に店舗があるのでツールラテの値段が比較に使われる。ツールラテ指数と呼ばれ、世界の76か国の主要都市の中で東京は36位である。いつの間にか日本は物価の安い国になっていった。本来このような数値は、円/ドルの為替レートと商品の値段を比較して、為替レートに比べて円の実際の購買力が強いか弱いか議論するのに使われるものだが、各国での価格を単純に比較するだけでもおもしろい。実際、お店に入っただけでも800円で食べられる国を欧米で見つけるのは難しい。海外からの旅行者にとって日本の物価の安さは魅力だが、材料費や光熱費は日本が特別安いわけではないので、人件費にしろ寄せてきているのだろう。それで諸物価も上がらなかつたのか。気が付いてみると日本の一人当たりのGDPも28位に下がっている。1990年代は2位か3位だった。この間一人当たりGDPが2倍に増えた国が数多くある中、日本はあまり変わらなかった。○しかし世界の原材料や原油価格の高騰と円安が同時に起こるといってこれまで経験したことのない事態となり、ついに日本の諸物価が上昇し始めた。消費者への影響、住宅購入への影響が懸念されている。国民の消費レベルを維持する金融政策が期待される。